

このたびは、弊社製品をご採用いただきまして誠にありがとうございます。
 施工前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
 また、施工後は施主様に商品説明を行ってください。
 なお、保守・点検の際も活用しますので、施工説明書・取扱説明書・仕様書は
 所定欄に施工業者名を記入の上、まとめて施主様にお渡しください。
 有資格者以外の方の電気工事は法律で禁止されていますので、絶対に行わないでください。

■安全に関するご注意

⚠ 警告	
!	相線式 (1φ2W, 1φ3W)・回路電圧に合わせて選んでください。 感電事故の防止ができません。
!	ねじ締付け・電線選定は説明書にしたがってください。 火災になるおそれがあります。
⚠ 注意	
!	主幹ブレーカに電源を接続する場合は、各相を正しく接続してください。
!	単3中性線欠相保護付漏電ブレーカやサーキットブレーカの過電圧検出リード線は、必ず中性バーに接続してください。 異常電圧が発生し電気器具を損傷するおそれがあります。

■施工に関するご注意

- 分電盤は相線式(1φ2W, 1φ3W)・回路電圧に合わせて選んでください。
回路方式 ・単相2線式(1φ2W) 100V
・単相3線式(1φ3W) 100V/200V
- 主幹ブレーカに電源を接続する場合は、各相を正しく接続してください。相を間違えると異常電圧が発生します。
- 盤定格電流を超える主幹ブレーカは取付けしないでください。
- 導電部の接続ねじは、表1の適正締付トルク範囲内で確実に締付けてください。
- 導電部の接続ねじは、輸送中ゆるむおそれがあるため増締めを行ってください。
- 電線サイズは最大想定負荷電流に適合したものを使用してください。主幹ブレーカ、分岐ブレーカに接続する電線サイズは表2より選んでください。
- 分岐ブレーカには単線2本を接続しないでください。
- 圧着端子・圧着工具は JIS マーク品を使用してください。電線に適合した圧着端子を使用してください。
- 主幹ブレーカ2次側端子からの臨時配線、およびフリースペースからの仮配線は行わないでください。
- 単3中性線欠相保護付漏電ブレーカやサーキットブレーカの過電圧検出リード線は、必ず中性バーに接続してください。接続しないと、欠相した場合に、電気器具を保護できません。

表1 導電部の接続ねじ適正締付トルク

ねじの呼び	締付トルクN・m
M4	1.2～1.6
M5	1.6～2.0
M6	3.0～4.5
M8	5.5～7.0

備考：機器端子M5圧着方式の場合は2.0～3.0N・m

表2 主幹ブレーカ・分岐ブレーカ適合電線サイズ

主幹・分岐 ブレーカの定格電流	電線サイズ
20A	φ1.6, φ2.0
30A	φ2.6, 5.5～8.0mm ²
40A	8.0～14.0mm ²
50A・60A	14.0～22.0mm ²
75A	22.0～38.0mm ²
100A	38.0mm ²

■設置に関するご注意

- 周囲温度は -5～+40℃、相対湿度 45～85%範囲内で、また24時間の平均温度は35℃を超えないよう、ご使用ください。
- 分電盤は、容易に操作・点検のできる場所に取付けてください。戸棚などの内部には取付けしないでください。
- 高温・多湿・じんあい・腐食性ガス・振動・衝撃など異常な環境での使用は避けてください。機能を損ないます。
- 屋内で使用してください。屋外や雨のかかる場所には使用できません。
- 分電盤を取付ける壁面は、平らな面を選んでください。凹凸のある場所へ無理に取付けしないでください。
- 分電盤は、図1に示す範囲内で使用してください。
- 分電盤の前面には、障害になるようなものを置かないでください。

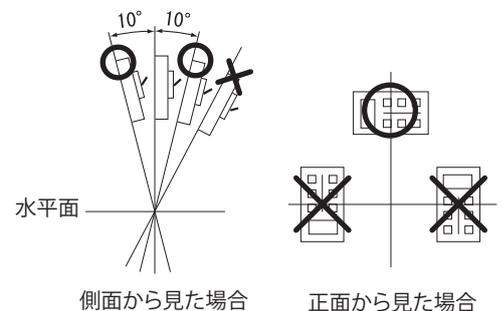


図1 取付可能角度

■使用上のご注意

- 分岐回路を200Vで使用するときには、必ず2P2Eの分岐ブレーカを使用してください。分岐回路を200Vに切替える場合の手順は、製品に貼付けまたは添付している説明書通りに行ってください。また、200Vに切替えた場合は、必ず200Vの表示をしてください。
- 線間の絶縁抵抗測定は漏電ブレーカが故障します。
- 不要な動作を防ぐため、商品に表示してある主幹ブレーカ定格電流の80%以内のご使用をお奨めします。

■工事に際してのご注意 (単位:mm)

● 取付けについて

本体の取付けは、天井・壁等の面から本体までに 15mm 以上、下側面から 30mm 以上の間隔をあけて取付けてください。カバーの取付け取外しが困難となります。

本体の取付けは、平らな面に取付けてください。凹凸のある場所へ無理に取付けますと本体がひずみ、正常な取付け状態・機能が維持できないことがあります。また、適切なねじ締付力で取付けてください。ねじの締めすぎによって本体がひずむことがあります。

本体の取付け・配線時、内部に切粉やごみが入らないよう養生などの処置をしてください。切粉やごみがかかると故障の原因になります。

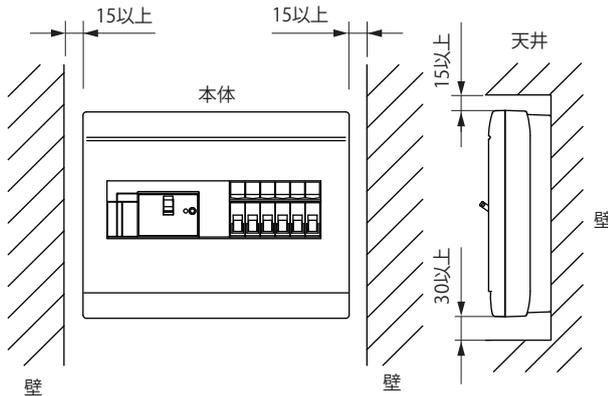


図2 取付寸法

● カバーの取外し方

パネル下部のプッシュボタンを押しながらカバーを手前に持上げてください。取外しの際はカバーが脱落するおそれがありますので、必ずカバーに手を添えて取外してください。

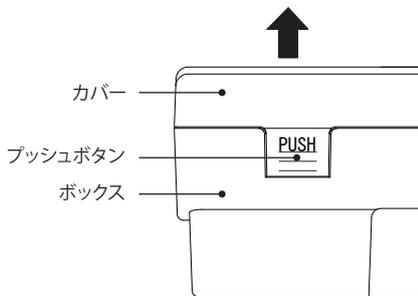


図3 カバーの取外し方

● ケーブルの引込みについて

分電盤への引込み主幹ケーブルが太い場合、本体・内部機器に干渉して本体が変形するおそれがありますので注意してください。

図4のように分電盤の間近でケーブル被覆をむいて入線するなどして、分電盤内の機器への影響を少なくしてください。

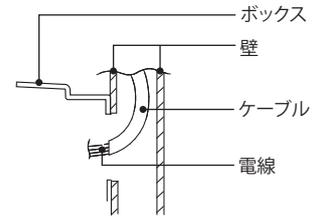


図4 ケーブルの引込み

● 分岐ブレーカ

パチンコ島用盤には専用ブレーカ(H-Type)を搭載しています。プチスリムブレーカより瞬時領域を高く設定してありますので、突入電流が大きい負荷機器などにご利用いただけます。

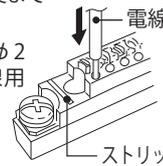
● アース端子への電線接続方法

・接続

電線を奥まで

差込む

φ1.6・φ2
単線用



・取外し

ドライバーで

押して電線を

引抜く

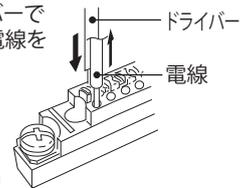


図5 アース端子への電線接続方法

付属品

圧着端子	3コ
絶縁キャップ	各1コ(赤・白・黒)
丸木ねじ 5×38	5本

施工業者名

TEL

施工年月日 年 月 日

警告表示がかすれたり、破損した場合は、警告ラベルの発注をお願いします。仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。また、ご不明な点がありましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。この説明書の内容は 2015 年 9 月現在のものです。

C903389001